

カモ類のほとんどは渡りをし、日本で冬を越します。その中で、渡りをせずに1年中見られるのが、カルガモです。

雌雄とも嘴の先が黄色く、目の近くには、黒褐色の筋状模様が2本あります。また、足は鮮やかなオレンジ色です。他のカモ類は雌雄の様相が異なるのですが、本種は外観で雌雄を区別することは困難です。

春から夏にかけて水辺に近い草むらなどへ枯れ草を集めて巣を作り、10個ほどの卵を産み、雛を育てます。雛は親鳥の後について水辺まで移動するので、その様子が報道されることもあります。

冬季に酒匂川周辺で見られるカモ類のなかでは、もっとも数が多い種類ですから、ぜひ観察してみてください。帽子や手袋などで防寒するとともに、双眼鏡を用いると、細かいところまで観察できます。



おおい自然園園長 一寸木肇

川の浅瀬で休むカルガモ



◀おおい自然園HP
大井町の動植物や虫、石、自然観察会の結果などを掲載しています。



◀自然NOWへの投稿
町内の身近な自然情報をお待ちしています。
※撮影は横位置で